年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用）　教科　　国語　　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１、2、6、8：宮田）　（3、4組：大川）　（5、7組：田山）

使用教科書：（ 高等学校現代の国語（第一学習社）　）

教科　国語　　目標：　言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　現代の国語　　目標：　言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
	「生きもの」として生きる(中村　桂子) 話し方の工夫、待遇表現 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明する。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書く。	・指導事項 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「生きもの」として生きる(中村　桂子)、話し方の工夫、待遇表現 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	4
	羅生門（芥川龍之介） 書き方の基礎レッスン、論理的な表現 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとする。	・指導事項 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…羅生門（芥川龍之介）、書き方の基礎レッスン、論理的な表現 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	7
1	定期考査						○	○		1

1学期	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	・指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…水の東西（山崎正和） ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	5
	ものとことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理する。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告する。	・指導事項 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 ・言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…ものとことば ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	夢十夜（夏目漱石） 待遇表現、情報源の探索と選択、情報源の明示 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとする。	・指導事項 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…夢十夜（夏目漱石）、待遇表現、情報源の探索と選択、情報源の明示 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 ・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・目的や意図に応じて、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとしている。	○	○	○	5

2学期	論理分析【対比】 「間」の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。	・指導事項 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材…「間」の感覚（高階秀爾） ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	「文化」としての科学（池内了） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明する。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめる	・指導事項 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「文化」としての科学（池内了） ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	7
	フェアな競争（内田樹） 法律の改正に関わる文書 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。法律の改正に関わる文章を読み比べる	・指導事項 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…フェアな競争（内田樹）、法律の改正に関わる文書 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。・異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

3学期	論理分析【推論】 AIは哲学できるか（森岡正博） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。	・指導事項 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材 AIは哲学できるか（森岡正博） ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	10
	不均等な時間（内山節） 日本の労働問題に関わる文書 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性など】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとする。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとする。 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	・指導事項 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材 不均等な時間（内山節）、日本の労働問題に関わる文書 ・一人１台端末の活用　等	○			【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。 【学びに向かう力、人間性など】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとする。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
										合計 78

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　国語　　科目 言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（２、３、４、６組：田山　）　　（１、５、７、８組：近藤）

使用教科書：（ 高等学校言語文化（第一学習社）　　）

教科　国語　　目標：　言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　　目標：　言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に関する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材‥児のそら寝 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	絵仏師良秀 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 ・教材…絵仏師良秀 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○	○	○	4
	訓読に親しむ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	・指導事項 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・教材　訓読に親しむ漢文を読むために ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	○	○	○	4
	漁父之利 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	・指導事項 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　漁父之利　狐借虎威、蛇足 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1

1学期	なよ竹のかぐや姫 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握する。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉える。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 ・教材…竹取物語 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 ・物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○	○	○	3
	伊勢物語 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。	・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・教材…伊勢物語 〔歴史の窓〕 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	6
	その子二十 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『伊勢物語』の同話と積極的に読み比べ、『大和物語』の表現の特色を評価する。	・指導事項 ・『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材…読み比べる・大和物語 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『伊勢物語』の同話と積極的に読み比べ、『大和物語』の表現の特色を評価しようとしている。	○	○	○	1
	その子二十 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しむ。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、文脈を踏まえ内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材…その子二十 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	3
	言語活動　折句を用いて短歌を作る 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作する。	・指導事項 ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材…言語活動　折句を用いて短歌を作る ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	○	○	○	2
	狐借虎威　　蛇足 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	・指導事項 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　漁父之利　狐借虎威、蛇足 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1

2学期	土佐日記 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりする。	・指導事項 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 ・「門出」「亡児」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として助詞について文語のきまりを理解する。 ・教材…土佐日記 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解いている。 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。	○	○	○	8
	完璧（十八史略） 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明する。	・指導事項 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「澠池の会」と読み比べ、課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　完璧（十八史略） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとしている。	○	○	○	3
	先従隗始（十八史略） 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明する。	・指導事項 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・「先従隗始」の由来と現代の意味の違いを知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　先従隗始（十八史略） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。	○	○	○	3
	臥薪嘗胆（十八史略） 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動を粘り強く読み取り、そこに表れたものの見方、感じ方、考え方を捉える。	・指導事項 ・やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・范蠡の別の逸話と読み比べ、課題に応じて調査する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　臥薪嘗胆（十八史略） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・やや長めの史伝を読んで登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動を粘り強く読み取り、そこに表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えようとしている。	○	○	○	4
	〔言語活動〕 故事成語の由来と意味を調べる 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめる。	・指導事項 ・課題に応じて調査する。 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　〔言語活動〕 故事成語の由来と意味を調べる ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。			○	2
	定期考査						○	○		1

平家物語 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。	・指導事項 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 ・教材…平家物語 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	7
人形浄瑠璃文楽－三業一体の技 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質、伝統芸能の歴史的・文化的背景について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調査した内容が効果的に伝わるよう、文章の構成、展開などの表現の仕方を工夫する。 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉える。 我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、自分の考えを積極的に取り組む。	・指導事項 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。 ・言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 ・教材…人形浄瑠璃文楽－三業一体の技 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質、伝統芸能の歴史的・文化的背景について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調査した内容が効果的に伝わるよう、文章の構成、展開などの表現の仕方を工夫している。 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、自分の考えを積極的にもとうとしている。	○	○	○	3
城の崎にて（志賀直哉） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとする。	・指導事項 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 ・教材…城の崎にて（志賀直哉） ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	8
論語〔歴史の窓〕 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べる。	・指導事項 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材　論語〔歴史の窓〕 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

	徒然草 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。	・指導事項 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「花は盛りに」では課題に応じて調査する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・教材…徒然草 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	万葉集 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・枕詞や序詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、黎明期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、黎明期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 ・主として枕詞や序詞などの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 ・教材　万葉集 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・枕詞や序詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、黎明期の和歌の特色を捉えている。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	○	○	○	3
	古今和歌集 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、理知的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 ・教材　古今和歌集 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・掛詞・縁語・見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉えている。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	○	○	○	3
	新古今和歌集 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本歌取り・本説取り・体言止めなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、成熟期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、成熟期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、観念的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、漢詩文の影響など、外国の文化との関係について理解する。 ・主として本歌取り・本説取り・体言止めなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 ・教材　新古今和歌集 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取り・本説取り・体言止めなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、成熟期の和歌の特色を捉えている。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	○	○	○	3
3学期	言語活動　古典の和歌を現代の言葉で書き換える 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換える。	・指導事項 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材　言語活動　古典の和歌を現代の言葉で書き換える ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。	○	○	○	2

	奥の細道 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。効果について理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深める。	・指導事項 ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている作者の人生観や旅の意味と言った、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 ・教材…奥の細道 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉えている。 ・俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。	○	○	○	5
	こころの帆 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しむ。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材…こころの帆 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	3
	唐詩の世界 【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。	・指導事項 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・教材　唐詩の世界 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。			○	3
	日本の漢詩 【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係について理解を深める。	・指導事項 ・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・教材　日本の漢詩 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係について理解を深めようとしている。			○	3
	聳のうへ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合う。	・指導事項 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材…聳のうへ ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
									合計	
									117	

年間授業計画

上野　高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　地理歴史　　科目　歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１・３・５・８組：北岡）　　（２・４・６・７組：川本）

使用教科書：（ 詳述歴史総合（実教出版）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解するとともに、歴史に関わる諸資料を活用することで課題を発見する

【思考力、判断力、表現力等】自国の歴史、グローバルな歴史を横断的・相互的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する

【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、課題解決の方法を工夫して、課題を解決する

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名 （1）歴史と私たち 【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 ・高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身につけさせる。 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	単元名 （2）歴史の特質と資料 【知識・技能】 日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料を活用し、これに基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 【思考・判断・表現】 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 1．ヨーロッパの海外進出と市民社会 2．清の繁栄 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元名 （3）近代化への問い 【知識・技能】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 3．東アジア諸国間の貿易 4．江戸時代の日本の対外政策 5．江戸時代の社会と生活 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 （4）結び付く世界と日本の開国 【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解することができる。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解することができる。 【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係について、資料を基に多角的・多面的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導項目 6．イギリス産業革命 7．アメリカ独立革命 8．フランス革命とナポレオン 9．ウィーン体制 10．19世紀のイギリスとフランス 11．イタリア・ドイツの統一 12．東方問題と19世紀のロシア 13．アメリカの発展と分裂 14．世界市場の形成 15．イスラーム世界の改革と再編 16．南アジア・東南アジアの改革と再編 17．アヘン戦争の衝撃	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 （5）国民国家と明治維新 【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解することができる。 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解することができる。 【思考・判断・表現】 アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会変容などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 18．ゆらぐ幕藩体制 19．開国 20．幕末政局と社会変動 21．新政府の成立と諸改革 22．富国強兵と文明開化 23．近代的な国際関係と国境・領土の画定 24．自由民権運動の高まり 25．立憲国家の成立 26．帝国主義と世界分割 27．帝国主義期の欧米諸国 28．条約改正 29．日清戦争 30．日露戦争から韓国併合へ ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	単元名 （6）近代化と現代的な諸課題 【知識・技能】 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分断、対立・協調などの観点から、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解することができる。 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 31．日本の産業革命と社会問題 32．アジア諸民族の独立運動・立憲運動 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	単元名 （7）国際秩序の変化や大衆化への問い 【知識・技能】 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化生活様式の変化などに関する資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し問いを表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 33．緊迫する国際関係 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元名 （8）第一次世界大戦と大衆社会 【知識・技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解すること。 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解することができる。 【思考・判断・表現】 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 34．第一次世界大戦 35．ロシア革命とシベリア出兵 36．大戦景気と米騒動 37．ヴェルサイユ体制とワシントン体制 38．西アジア・南アジアの民族運動 39．東アジア・東南アジアの民族運動 40．戦間期の欧米 41．ひろがる社会運動と普通選挙の実現 42．政党内閣の時代 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 （9）経済危機と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解することができる。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解することができる。 【思考・判断・表現】	・指導項目 43．世界恐慌 44．ファシズムの時代 45．満洲事変と軍部の台頭 46．日中戦争 47．第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 48．戦争と民衆 49　敗戦 50．国際連合と戦後世界 51．戦後と占領の始まり	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深				

	【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化、第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響、国際秩序の形成が社会に与えた影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の同様の要因などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 （１０）国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 【知識・技能】 自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分断、対立・協調などの観点から，現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解することができる。 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 52. 民主化と日本国憲法 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
３学期	単元名 （１１）グローバル化への問い 【知識・技能】 冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信，食料と人工，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 53. 冷戦の開始 54. 朝鮮戦争と日本 55. 冷戦対立の推移 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	単元名 （１２）冷戦と世界経済 【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解することができる。 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解することができる。 【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、i冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 56. 植民地の独立と第三世界の出現 57. 米ソ両陣営の動揺 58. 日本の国際社会復帰と高度経済成長 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元名 （１３）現代的な諸課題の形成と展望 【知識・技能】 持続可能な社会の実現を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察・構想し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。	・指導項目 65. グローバルな認識へ ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：　（12組：本間・松重・宮崎）　（34組：松重・髙橋・宮崎）　（56組：本間・松重・日比野）　（78組：本間・松重・日比野）

使用教科書：　高等学校 数学Ⅰ（数研出版）

教科　数学　の目標：　数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目　数学Ⅰ　の目標：　数と式、図形と計量、2次関数、データの分析について理解させ、基礎的な知識・技能を習得し、事象を数学的に考察する力を培い、数学のよさを認識する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数、データの分析についての基本的な概念や原理を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に表現する技能を身につけるようにする。	数や式を多面的に見たり、図形の性質や計量について論理的に考察する力、関数関係に着目しグラフを相互に関連つけ考察する力、社会の事象についてデータ散らばりなどの分析を行い問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断使用とする態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　数と式 【知識及び技能】 ・多項式の加法減法、指数法則、展開公式、因数分解の公式を理解し利用できるようにする。 ・数の体系の理解を深め、平方根の計算、および様々な不等式を解けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複雑な因数分解ができ、実数を数直線上の点の座標と捉え、身近な問題を1次不等式に帰着させられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・式の計算や根号、対称式、不等式に関心を持ち、考察させる。	・指導事項 ・式の整理や置き換えるなどをして、すでに学習した計算の方法と関連付けて多面的に捉えたり、目的に応じて適切に式を変形したりする力を培う。 ・数の体系について理解を深める。 ・不等式の性質を理解し、1次不等式の解法およびその活用を考察する。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・多項式の加法減法、指数法則、展開公式、因数分解の公式を理解し利用できる。 ・数の体系の理解を深め、平方根の計算、および様々な不等式が解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複雑な因数分解ができ、実数を数直線上の点の座標と捉え、身近な問題を1次不等式に帰着させられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・式の計算や根号、対称式、不等式に関心を持ち、考察する態度がある。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第2章　集合と命題 【知識及び技能】 ・集合および命題や条件について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・背理法を利用した証明に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・集合や命題について積極的に考察する。	・指導事項 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・集合とその表し方およびド・モルガンの法則を理解している。 ・命題の真偽や条件について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ベン図を利用でき、背理法などを利用し命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合や命題について積極的に考察している。	○	○	○	7
	第3章　2次関数　1～6 【知識及び技能】 ・2次関数のグラフが書け最大値や最小値が求められるようにする。 ・2次関数のグラフとｘ軸との共有点を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・定義域やグラフが変化する場合の最大値や最小値を求めることができ,判別式の符号の考察ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・放物線に興味を持ち、頂点や軸を考察し、2次方程式が解けるようにする。	・指導事項 ・2次関数の値の変化を考察し、最大値や最小値を求められるようにする。 ・2次方程式や2次不等式の解と2次関数の関係を理解させる。 ・教材 教科書・プリント・問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・2次関数のグラフが書け、最大値や最小値が求められる。 ・2次関数のグラフとｘ軸との共有点を理解し、2次不等式が解ける。 【思考・判断・表現】 ・定義域やグラフが変化する場合の最大値や最小値を求めることができる。 ・判別式の符号から、グラフとｘ軸の位置関係を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・放物線に興味を持ち、頂点や軸を求める。 ・2次不等式を解く際、図を積極的に用いる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第3章　2次関数　7　2次不等式 【知識及び技能】 ・2次不等式が解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数と2次不等式を関連させて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2次不等式を解く際、図を活用できるようにする。	・指導事項 ・2次不等式が解けるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・2次不等式が解ける。 【思考・判断・表現】 ・2次関数と2次不等式を関連させて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次不等式を解く際、図を活用する	○	○	○	4

	第4章　図形と計量 【知識及び技能】 ・直角三角形における三角比を理解するとともに、鈍角に拡張した中でも三角比を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相互関係やなす角についても考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形の性質をもとに三角比を考察しようとする。	・指導事項 ・三角比の意味や性質、および三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、様々な事象を数学的に捉え三角比を活用させる。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・直角三角形における三角比を理解するとともに、鈍角に拡張した中でも三角比を考察できる。 【思考・判断・表現】 ・相互関係やなす角についても考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形の性質をもとに三角比を考察しようとする。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期	第4章　図形と計量 2節　三角形への応用～ 【知識及び技能】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。また、三角形の面積や正四面体の体積を求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正弦定理や余弦定理を導くことができ、空間図形の応用において三角形に着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・正弦定理や余弦定理の図形的意味を考察する。	・指導事項 ・正弦定理や余弦定理を活用して、日常や社会の事象を数学的に捉え問題を解決する力を培う。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	第4章　図形と計量 2節　三角形への応用～ 【知識・技能】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。また、三角形の面積や正四面体の体積を求められる。 【思考・判断・表現】 ・正弦定理や余弦定理を導くことができ、空間図形の応用において三角形に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正弦定理や余弦定理の図形的意味を考察する。	○	○	○	10
	第5章　データの分析 【知識及び技能】 ・箱ひげ図を書き、データの分布を比較できる。また、分散や標準偏差や相関係数を理解し、定義に従って求める個とが出来るようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・変量の変換による平均や標準偏差の変化を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データを整理し散らばり具合や全体の傾向を考察しようとする。	・指導事項 ・データの散らばり具合を数値化し、複数のデータの分析を行い、事象と特徴を把握する力を養う。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	第5章　データの分析 【知識・技能】 ・箱ひげ図を書き、データの分布を比較できる。また、分散や標準偏差や相関係数を理解し、定義に従って求める個とが出来る。 【思考・判断・表現】 ・変量の変換による平均や標準偏差の変化を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・データを整理し散らばり具合や全体の傾向を考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	式と証明 【知識及び技能】 ・3次式の計算や二項定理、整式の割り算や分数式の計算ができるようにする。 ・等式や不等式の証明ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二項定理を等式の証明に用いたり、多項定理を理解している。 ・絶対値や相加相乗について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整式の計算が出来、等式や不等式の証明に関心を持って取り組む。	・指導事項 ・整式の乗法除法および分数式の四則演算を理解し、等式や不等式の証明ができるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	式と証明 【知識・技能】 ・3次式の計算や二項定理、整式の割り算や分数式の計算ができる。 ・等式や不等式の証明ができる。 【思考・判断・表現】 ・二項定理を等式の証明に用いたり、多項定理を理解している。 ・絶対値や相加相乗について理解を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・整式の計算が出来、等式や不等式の証明に関心を持って取り組んでいる。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
							合計
							117

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　数学　　科目　数学A

教　科：　数学　　科　目：　数学A　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：(1組　本間)（2組　本間）（3組　松重）（4組　本間）（5組　髙橋）（6組　髙橋）(7組　山岸）（8組　松重）

使用教科書：　高等学校 数学A（数研出版）

教科　数学　の目標：　数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め、評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目　数学A　の目標：　図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識・技能を習得し、人間の活動への認識を深め数学的に考察する力を培い、数学のよさを認識する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、数学と人間の関係についての認識を深め、事象を数学的に表現処理する技能を身につけるようにする。	図形の性質を見出し論理的に考察する力、確率の性質に基づき事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の関わりに着目し数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　場合の数と確率 【知識及び技能】 ・和集合や補集合などを理解し、その要素の個数を求めるられるようにする。 ・和の法則や積の法則を理解し、事象に応じて使い分け場合の数を求められるようにする。 ・順列、円順列、重複順列について公式を理解し利用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベン図を利用して、集合の要素の個数を考察することができる。 ・条件つきの様々な順列に対処できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常的な事柄を集合の要素の個数として捉えられるようにする。 ・場合の数の考え方に関心をもつ。	・指導事項 ・場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・和集合や補集合などを理解し、その要素の個数を求めることができる。 ・和の法則や積の法則を理解し、事象に応じて使い分け場合の数を求めることができる。 ・順列、円順列、重複順列について公式を理解し利用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベン図を利用して、集合の要素の個数を考察することができる。 ・条件つきの様々な順列に対処できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常的な事柄を集合の要素の個数として捉えられる。 ・場合の数の考え方に関心をもつ。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第2章　場合の数と確率 【知識及び技能】 ・組合せの公式および組分けや同じものを含む順列について理解する。 ・確率の定義や基本性質を理解し様々な事象の確率を求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同様に確からしいという概念をもとに事象を数量的に捉えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・順列と組合せの違いに関心を持ち、意欲的に様々な事象の確率を求めようとする。	・指導事項 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・組合せの公式および組分けや同じものを含む順列について理解している。 ・確率の定義や基本性質を理解し、様々な事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・同様に確からしいという概念をもとに、事象を数量的に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列と組合せの違いに関心をもつ。 ・意欲的に様々な事象の確率を求めようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	第3章　場合の数と確率 【知識及び技能】 ・反復試行の確率、条件付きの確率および期待値を理解し、求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既習の確率と条件付き確率の違いを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反復試行の確率や条件付き確率に興味を持ち考察しようとする。	・指導事項 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・反復試行の確率、条件付きの確率および期待値を理解し、求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・既習の確率と条件付き確率の違いが理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反復試行の確率や条件付き確率に興味を持ち考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第2章　図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形の三心やチェバ・メネラウスの定理、円周角の定理や接弦定理などを理解し、活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の性質を適切な補助線を引いて考察することができる。 ・円と直線の位置関係や2つの円の位置関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三角形や円の性質に興味を持ち、積極的に考察しようとする。	・指導事項 ・平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	第2章　図形の性質 【知識・技能】 ・三角形の三心やチェバ・メネラウスの定理、円周角の定理や接弦定理などを理解し活用できる。 【思考・判断・表現】 ・図形の性質を適切な補助線を引いて考察できる。 ・円と直線の位置関係や2つの円の位置関係を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形や円の性質に興味を持ち、積極的に考察しようとする。	○	○	○	10

	第3章　数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・約数、倍数、素因数分解を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倍数の判定法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・素因数分解や約数倍数について学ぶ態度がある。	・指導事項 ・様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるような力を培う。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	第3章　数学と人間の活動 【知識・技能】 ・約数、倍数、素因数分解を理解している。 【思考・判断・表現】 ・倍数の判定法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・素因数分解や約数倍数について学ぶ態度がある。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3学期	第3章　数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・最大公約数や最小公倍数を求められる。 ・ユークリッドの互除法を理解する。 ・1次不定方程式の整数解を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・割り算の余りについての考察を深める。 ・互除法を応用して様々な考察ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・割り算や互除法、1次不定方程式と日常的な事柄の関連づけに興味を持つ。	・指導事項 ・様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるような力を培う。 ・教材 教科書・プリント・問題集等 ・一人１台端末の活用　等	式と証明 【知識・技能】 ・最大公約数や最小公倍数を求められる。 ・ユークリッドの互除法を理解している。 ・1次不定方程式の整数解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・割り算の余りについての考察を深める。 ・互除法を応用して様々な考察ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・割り算や互除法、1次不定方程式と日常的な事柄の関連づけに興味を持つ。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教　科： 理科　　科　目： 化学基礎　　単位数： 2 単位 2

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1組：海野、2組：佐川、3組：榎本、4組：榎本、5組：吉田、6組：佐川、7組：海野、8組：吉田）

使用教科書：（ 東京書籍 化学基礎　浜島書店 新インプレス化学基礎ノート ）

教科 0 の目標：

【知識及び技能】・化学と物質について，化学の特徴を理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】・化学と物質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現する。

【学びに向かう力、人間性等】・化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学と物質についての実験などを通して，化学の特徴について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・化学と物質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現できる。	化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	化学とは何か 【知識及び技能】 化学と物質について，化学の特徴を理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学と物質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う		【知識・技能】 化学と物質についての実験などを通して，化学の特徴について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学の特徴について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている	○	○	○	4
	物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 化学と物質について，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態のことを理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学と物質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	物質の成分 物質の構成 物質の三態	【知識・技能】 化学と物質についての実験などを通して，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学の特徴，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
1学期	原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 物質の構成粒子について，原子の構造，電子配置と周期表のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について，観察・実験を通して探究し，原子の構造，電子配置と周期表について見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子の構造，電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り，科学的に探究しようとする態度を養う。	原子の構造 電子配置 元素の周期表	【知識・技能】 物質の構成粒子についての実験などを通して，原子の構造，電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子の構造，電子配置と周期表について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子の構造，電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6

	化学結合 【知識及び技能】 物質と化学結合について，イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合のことを理解するとともに，それらの観 察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について，観察・実験などを通して探究し，イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合につい て見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合	【知識・技能】 物質と化学結合についての実験などを通して，イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に 考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり，見通しをもったり振り 返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学期	B 物質量と化学反応式 【知識及び技能】 物質量と化学反応式についての実験などを通して，物質量，化学反応式のことを理解するとともに，それらの観察・実験な どに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量と化学反応式について，観察・実験などを通して探究し，物質量，化学反応式を見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質量，化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	原子量・分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応の表し方 化学反応式の表す量的関係	【知識・技能】 物質量と化学反応式についての実験などを通して，物質量，化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとと もに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質量，化学反応式について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に 探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質量，化学反応式について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	酸と塩基 【知識及び技能】 化学反応についての実験などを通して，酸・塩基と中和のことを理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能 を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について，観察・実験などを通して探究し，酸・塩基と中和を見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	酸と塩基 水素イオン濃度とｐＨ 中和反応と塩 中和滴定	【知識・技能】 酸・塩基と中和について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 化学反応についての実験などを通して，酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に 探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 酸・塩基と中和について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究 している。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基と中和について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3学期	酸化還元 【知識及び技能】 化学反応についての実験などを通して，酸化と還元のことを理解するとともに，それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応について，観察・実験などを通して探究し，酸化と還元を見出して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の応用	【知識・技能】 化学反応についての実験などを通して，酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究 するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 酸化と還元について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している 【主体的に学習に取り組む態度】 酸化と還元について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
						合計	
						78	

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　理科　　科目　生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１ 学年　１ 組～　８ 組

教科担当者：（１組：早山）（２組：太田）（３組：太田）（４組：太田）（５組：太田）（６組：太田）（７組：太田）（８組：早山）

使用教科書：（ i版生物基礎（啓林館）　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元「生物の共通性と多様性」 【知識及び技能】 生物の特徴について，生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の共通性と多様性について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性と多様性に主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「生物の多様性と共通性」 「細胞の発見と細胞の大きさ」 「真核細胞の構造」 「原核細胞の構造」 「顕微鏡の使い方」 「ミクロメーターの使い方」 「真核細胞と原核細胞の観察」	【知識・技能】 生物の特徴について，生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 生物の共通性と多様性について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性と多様性に主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	7
	単元「生物とエネルギー」 【知識・技能】 生物の特徴について，生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 生物とエネルギーについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物とエネルギーに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「生命活動とエネルギー」 「ATPの構造」 「生体内の化学反応と酵素」 「光合成と呼吸」	【知識・技能】 生物の特徴について，生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 生物とエネルギーについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物とエネルギーに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元「遺伝子とその働き」 【知識・技能】 遺伝子とその働きについて，遺伝情報とDNA，遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 遺伝子とその働きについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子とその働きに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「生物と遺伝情報」 「遺伝子の本体」 「DNAの構造」 「DNAと染色体」 「DNAの抽出」 「DNAの複製」 「細胞周期とDNAの分配」 「細胞周期とDNA量の変化」 「体細胞分裂の観察」 「遺伝子発現とタンパク質」 「遺伝子の発現」 「セントラルドグマ」 「遺伝子発現と維持」	【知識・技能】 遺伝子とその働きについて，遺伝情報とDNA，遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 遺伝子とその働きについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子とその働きに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	単元「神経系と内分泌系による調節」 【知識・技能】 神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達，体内環境の維持の仕組みの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 情報の伝達，体内環境の維持のしくみについて，観察，実験などを通して探究し，神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達，体内環境の維持のしくみに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「恒常性と体液」 「血液の成分と働き」 「赤血球による酸素の運搬」 「血液凝固と線溶」 「赤血球の観察」 「腎臓の構造と働き」 「肝臓の構造と働き」 「カイコの観察」 「恒常性に関わる神経系」 「自律神経系と脳死」 「内分泌系」 「内分泌系による調節」 「血糖濃度の調節」 「体温の調節」 「水分量の調節」	【知識・技能】 神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達，体内環境の維持の仕組みの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 情報の伝達，体内環境の維持のしくみについて，観察，実験などを通して探究し，神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達，体内環境の維持のしくみに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元「免疫」 【知識・技能】 免疫について，免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 免疫の働きについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫の働きに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「生体防御の概要」 「異物の侵入を阻止するしくみ」 「自然免疫のしくみ」 「獲得免疫の概要」 「細胞性免疫」 「体液性免疫」 「抗体と抗原抗体反応」 「免疫記憶とその利用」 「免疫と病気」 「校庭の樹木観察」	【知識・技能】 免疫について，免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 免疫の働きについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫の働きに主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	単元「植生と遷移」 【知識・技能】 植生と遷移について，植生遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 植生と遷移について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 植生と遷移に主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「植生と相観」 「森林の階層構造と土壌」 「光の強さと植物」 「植生遷移」 「遷移に伴う環境の変化」 「世界のバイオーム」 「日本のバイオーム」 「日本のバイオームと遷移」	【知識・技能】 植生と遷移について，植生遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 植生と遷移について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植生と遷移に主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	10
	単元「生態系とその保全」 【知識・技能】 生態系とその保全について，生態系と生物の多様性，生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 生態系とその保全について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系とその保全に主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求する。	「生態系」 「生態系における生物の役割」 「種の多様性と食物連鎖」 「生態ピラミッド」 「生態系の物質循環」 「生態系のエネルギーの流れ」 「キーストーン種と絶滅」 「生態系のバランスと変動」 「人間活動と生態系」 「生物濃縮」 「外来生物」 「生物多様性と生態系の保全」 「生態系サービス」	【知識・技能】 生態系とその保全について，生態系と生物の多様性，生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 生態系とその保全について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系とその保全に主体的に関わり，見通しを持ったり振り返ったりするなど，科学的に探求しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
						合計	
						78	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：吉田久、遠山、氣田、白井、佐藤

使用教科書：（ 50　大修館　保体702　新高等保健体育　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】「運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	体つくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き，仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では，ねらいに応じて，健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，話合いに貢献しようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などを理解するとともに，健康の保持増進や体力の向上を目指し，目的に適した運動の計画を立て取り組む。	【知識・技能】 心身の健康、健康や体力の保持増進について学習した具体例を挙げている。 のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うこと通じて、気付いたりかかわりあったりすることができる。 【思考・判断・表現】 体の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体つくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。 体つくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組み合わせの例を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体つくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	18
	陸上競技 【知識及び技能】 ・それぞれの技術に、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解できる。 ・技術と関連させた補助運動や部分練習を取り入れ，繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・陸上競技の特性を踏まえて，動きなどの改善についてのポイントを発見したり，仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	走り幅跳び・ハードル走 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付ける。	【知識・技能】 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称について、言ったり書き出したりしている。 踏切では、状態を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ足を素早く引き上げることができる。 【思考・判断・表現】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	
	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することで，個人やチームの学習課題が明確になり，学習成果を高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し，これまで学習した知識や技能を活用して，学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを，他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	ネット型「バレーボール」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識・技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。 【思考・判断・表現】 作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為について自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	18

1・2学期	武道 【知識及び技能】 ・柔道では，相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技，連絡技を用いて，相手を崩して投げたり，抑えたりするなどの攻防をすることができる。 ・剣道では，相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて，相手の構えを崩し，しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・武道の特性を踏まえて，技や攻防などの改善についてのポイントを発見したり，仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	柔道・剣道 ・技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などを理解する。	【知識及び技能】 武道を学習することについて言ったり、書きだしたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と互いに合意した自己の役割を果たそうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	37
	ダンス 【知識及び技能】 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え，個や群で，緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり，簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化とまとまりを付けて，リズムに乗って全身で踊ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	ダンス ・感じを込めて踊ったり，みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい，踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに，イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。	【知識及び技能】 身体運動や作品創作に用いられる名称や用語について学習した具体例を挙げている。 テーマにふさわしい個や群の構成で、一番表現したい主要場面を創ることができる。 はじめとおわりを付け、ひとまとまりの作品にまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を身につけることができる。 ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 作品創作などについての話し合いに貢献しようとすること。	○	○	○	
2学期	球技 【知識及び技能】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し，これまで学習した知識や技能を活用して，学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを，他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	ゴール型 「バスケットボール・サッカー」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識及び技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間と共に球技を楽しむための調整の仕方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	20
	球技 【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することで，個人やチームの学習課題が明確になり，学習成果を高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し，これまで学習した知識や技能を活用して，学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを，他者にわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	ネット型「テニス」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識及び技能】 体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 サービスでは、ボールを狙った場所に打つことができる。 ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活躍を振り返ることができる。 チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活躍を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	

3学期	陸上競技 【知識及び技能】 ・自己に適したペースを維持して，一定の距離を走り通し，タイムを短縮したり，競走したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・陸上競技の特性を踏まえて，動きなどの改善についてのポイントを発見したり，仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	長距離走 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付ける。	【知識及び技能】 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称について、言ったり書き出したりしている。 踏切では、状態を起こして、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ足を素早く引き上げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	16
	体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	体育理論 ・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から，多角的に思考し判断し表現する学習を通して，個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることを理解する。	【知識及び技能】 近年では，我が国から世界に普及し，発展しているスポーツがあり，日本 の文化の発信に貢献していることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について， 習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自 己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，自主的に取り組も うとすること。	○	○	○	8
							合計 117

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　保健体育　科目　保健

教　科：　保健体育　科　目：　保健　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（１組：吉田久）（2組：氣田）（3組：遠山）（4組：遠山）（5組：白井）（6組：白井）（7組：氣田）（8組：吉田久）

使用教科書：（大修館　保体702　新高等保健体育）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】　現代社会と健康の考え方について，課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】　現代社会と健康の考え方について，課題の解決を目指して，知識を活用した学習活動などにより，総合的に考え，判断し，それらを表すことができる。

【学びに向かう力、人間性等】　現代社会と健康の考え方について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとすることができる。

科目　保健　の目標：　多様な健康の考え方、感染症、生活習慣病、精神疾患などの健康課題とその対策、健康を支える社会づくりについて理解することができ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康・安全の意義を理解するとともに，現代社会と健康について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し，知識を身に付ける。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して，科学的に思考し，総合的に捉えることにより，適切な意志決定を行い，選択すべき行動を適切に判断している。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち，自ら健康で安全な生活を実践するため，意欲的に学習に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	現代社会と健康 【知識及び技能】 ・健康水準の向上，疾病構造の変化に伴い，個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて，理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見しているさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。	・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・健康に関する意思決定・行動選択	A 単元 【知識及び技能】 ・健康水準の向上，疾病構造の変化に伴い，個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて，理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組んでいる	○	○	○	5
	現代社会と健康 【知識及び技能】 ・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解させる。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見させる。	・現代における感染症の問題 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	B 単元 【知識及び技能】 ・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解している。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	現代社会と健康 【知識及び技能】 ・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる	・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・がんの予防と回復	C 単元 【知識及び技能】 ・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	現代社会と健康 【知識及び技能】 ・がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・がんの予防と回復	D 単元 【知識及び技能】 ・がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2学期	現代社会と健康 【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	現代社会と健康 【知識及び技能】 ・精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見させる。	・精神疾患の特徴 ・精神疾患への対応 ・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成	【知識及び技能】 ・精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見する。	○	○	○	6
3学期	安全な社会生活 【知識及び技能】 ・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見させる。	・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法	【知識及び技能】 ・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見する。	○	○	○	4
	安全な社会生活 【知識及び技能】 ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し，できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明することができる。	・日常的な応急手当	【知識及び技能】 ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し，できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明することができる。	○	○	○	3 合計 39

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：井上治子

使用教科書：（ 教育出版　音楽Ⅰ　Tutti＋　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	上野高校校歌の斉唱 【知識及び技能】のびのびとした発声、明瞭な発音で歌わせる。 【思考力、判断力、表現力等】強弱記号や発想標語を理解し、音楽的視点から理由を考察し、表現させる。歌詞の時代背景に興味を持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】歌唱	・歌唱音源の鑑賞 ・歌詞の時代背景、幕末の上野の歴史や戊辰戦争についての学習。	○			○	知識技能：のびのびとした発声・明瞭な発音で歌うことができる。 思考判断表現力：強弱記号や発想標語を理解し・音楽的視点から理由を考察し、表現に活かすことができる。歌詞の時代背景に興味を持ち、理解しようとしている。 学びに向かう力・人間性：歌唱表現の方法について考察し、積極的に発言することができ	○	○	○	6
	ギター実技 知識技能：ギターの種類やそれぞれの特性について理解させる。単音で旋律弾きができるようにする。C,Gのコードで簡単な伴奏ができるようにする。思考判断表現力：曲に応じて指使いを工夫し、よりよい響きを追求させる。学びに向かう力・人間	・構え方 ・楽器の構造 ・チューニング ・範奏の鑑賞 ・単旋律の楽曲の演奏 ・CとGコードによる伴奏 ・TAB譜の読み取り ・ダイヤグラムの読み取り		○		○	知識技能：ギターの種類やそれぞれの特性について理解している。単音で旋律弾きができる。C,Gコードで簡単な伴奏ができる。思考表現判断力：曲に応じて指使いを工夫し、よりよい響きを追求する。学びに向かう力・人間性・判断力：自分自身の演奏の振り返りや他者の演奏・範奏などを聴き、課題点や良い点を見出し自身の演奏に活かしている。	○	○	○	20
2学期	グループアンサンブル 知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想標語を理解して演奏できるようにする。思考表現判断力：楽譜に書かれた音楽要素を理解し、その理由を考えさせる。学びに向かう力・人間性・判断力：友人と協力してよりよい練習方法を考え、実践	・候補曲の鑑賞 ・曲決め ・楽譜の読み取り ・個人練習 ・グループ練習 ・発表		○		○	知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想標語を理解して演奏できる。思考表現判断力：楽譜に書かれた音楽要素を理解し、その理由を考える。学びに向かう力・人間性・判断力：友人と協力してよりよい練習方法を考え、実践し、よりよい表現を追求する。	○	○	○	15
	合唱 知識技能：正しい発声方法で、のびのびと歌唱させる。思考表現判断力：パートの役割や他パートとのかかわりを意識して歌わせる。 学びに向かう力・人間性・判断力：自分たちなりの表現を追求させる。	・曲決め ・楽譜の読み取り ・歌詞の理解 ・パート練習 ・全体練習 ・発表	○			○	知識技能：正しい発声方法で、のびのびと歌唱する。思考表現判断力：パートの役割や他パートとのかかわりを意識して歌う。 学びに向かう力・人間性・判断力：自分たちなりの表現を追求する。	○	○	○	15
3学期	クラス合奏 知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想標語を理解して演奏できるようにする。思考表現判断力：楽譜に書かれた音楽要素を理解し、その理由を考えさせる。学びに向かう力・人間性・判断力：友人と協力してよりよい練習方法を考え、実践	・曲の鑑賞 ・パート決め ・楽譜の読み取り ・個人練習 ・グループ練習 ・発表		○		○	知識技能：楽譜を正しく読み取り、強弱や発想標語を理解して演奏できる。思考表現判断力：楽譜に書かれた音楽要素を理解し、その理由を考える。学びに向かう力・人間性・判断力：友人と協力してよりよい練習方法を考え、実践し、よりよい表現を追求する。	○	○	○	22
											合計 78
3学期											
											合計 ##

年間授業計画

高等学校 令和６度（１学年用） 教科　芸術　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組　美術選択者

教科担当者：　村井良子

使用教科書：　（ 光村図書　美術１　）

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】様々な技法を知り制作につなげる

【思考力、判断力、表現力等】独自の表現を目指し工夫する。よりよい作品を目指し創意工夫する。

【学びに向かう力、人間性等】条件や注意事項に留意し、より良い作品を目指して主体的に製作する。

科目　美術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
意図に応じて材料や用具の特徴を生かすとともに、表現方法を創意工夫して主題を追求し、創造的に表わす。目的や機能などを考えて発想や構想し、機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。	自然や自己、生活などを見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成する。表現形式の特徴を生かし形態や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。他者の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	主体的に創造活動に取り組み、作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい表現などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	名前の構成 【知識及び技能】 　トーンによる配色を理解し自在に混色する。水張りの意義を理解し正しく行う。 【思考力、判断力、表現力等】 独自の表現を目指し工夫する。よりよい構図を目指し創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 条件や注意事項に留意し、〆切を守って提出する。道具を忘れずに準備する。	参考作品を解説し表現の幅の広さを知る より良い作品を目指して柔軟に発想することができる。 一つ一つの工程を丁寧に取り組み、よりよい作品作りを目指す。 トーン分類への理解を深め、自由に色彩を操ることができる。	○	○		○	トーンによる配色を理解し自在に混色することができる。水張りの意義を理解し正しく行うことができる。 独自の表現を目指し工夫することができる。よりよい構図を目指し創意工夫することができる。 条件や注意事項に留意し、〆切を守って提出することができる。道具を忘れずに準備できる。	○	○	○	18
	日常の危険を知らせるデザイン 【知識及び技能】 　絵画とデザインの違いを理解する。版画技法の特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な場面から柔軟に発想を膨らませ作品制作につなげる。版画の特性から表現方法を工夫する。より訴求性の高い作品作りを目指し構図を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 見通しを持って丁寧に制作する。〆切や条件を守って提出する。	デザインの本質的な難しさを知り、訴求性を追求する。 シルクスクリーン技法を理解し、構成を工夫する。	○	○		○	絵画とデザインの違いを理解する。版画技法の特性を理解する。 日常的な場面から柔軟に発想を膨らませ作品制作につなげる。版画の特性から表現方法を工夫する。より訴求性の高い作品作りを目指し構図を工夫する。 見通しを持って丁寧に制作する。〆切や条件を守って提出する。	○	○	○	12
	回転木版画 【知識及び技能】 凸版技法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 選んだテーマについて発想を深めより良い作品を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品の良さに気付き評価できる。	回転木版画の技法を理解し製作することができる。 自由な発想でテーマを表現することができる。	○	○		○	凸版画の特性を理解し、見通しを持って作業する。 回転木版画の手順をふみ、偶然生まれる色の重なりや模様の美しさを感じる。 作品鑑賞を通して他社の作品のもつ良さや美しさに気付く。	○	○	○	14
2学期	ハンドスカルプチャー 【知識及び技能】 　切削道具の使い方と用途を理解し、正しく安全に使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 触覚を駆使し手になじむ形を探る。 【学びに向かう力、人間性等】 使用方法を守り安全に制作する。作品を完成させ〆切を守って提出する。	自分なりの「手になじむ形」を見つける。 的確に道具を選び、正しく使うことができる。	○			○	切削道具の使い方と用途を理解し、正しく安全に使用する。 触覚を駆使し手になじむ形を探る。 使用方法を守り安全に制作する。作品を完成させ〆切を守って提出する。	○	○	○	20
3学期	張り子の石 【知識及び技能】 張り子技法の手順を理解する。見通しを持って製作を行なう。 【思考力、判断力、表現力等】 お手本を見ながら自在に混色し、色の重なりによる表現の幅を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 忘れ物をせず授業に臨み、毎時間の制作を丁寧に行う。〆切を守って提出する。	伝統技法を理解し、身に着ける。 製作工程を見通した作品作りを工夫する。	○			○	張り子技法の手順を理解する。見通しを持って製作を行なう。 お手本を見ながら自在に混色し、色の重なりによる表現の幅を広げる。 忘れ物をせず授業に臨み、毎時間の制作を丁寧に行う。〆切を守って提出する。	○	○	○	14
											合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科　芸術　科目 書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（　1～8組：　山口英紀　）

使用教科書：（ 書道Ⅰ（東京書籍）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現する為めの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書の伝統と文化の意味や価値を考え、その効用に基づいて意図を構想したり、表現を工夫することができるようにする。	生活や社会の中の文字や書の伝統と文化に深く関われる資質を養い、生涯にわたって書を愛好する心情を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元；書写で学んできたこと 【知識及び技能】 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体構成について構想し工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復練習することにより清書の完成度が高まることを理解し、課題に取り組む集中力や継続力を養う。	書写内容の復習 基本点画の復習	○			○	【知識・技能】 漢字と仮名の調和した線質や字形など基本点画の表現を捉えている。 【思考・判断力・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己添削を工夫し、改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時間内での時間を有効に使って反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	2
	単元；九成宮醴泉銘の臨書 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解させ、臨書させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考察させ、臨書させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫させる。	楷書の学習 九成宮醴泉銘		○		○	【知識・技能】 九成宮醴泉銘に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・鋭い起筆と直線的な点画 ・縦長で、青勢の字形 ・分間布白、懐の広い構成 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己添削を工夫し、改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時間内での時間を有効に使って反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	12
	単元；孔子廟堂碑の臨書 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解させ、臨書させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考察させ、臨書させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫させる。	楷書の学習 孔子廟堂碑		○		○	【知識・技能】 孔子廟堂碑に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・力みすぎない自然な点画 ・縦長で南勢気味の字形 ・左側を密に右側を疎にする構成 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己添削を工夫し、改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時間内での時間を有効に使って反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	12
2学期	単元；雁塔聖教序の臨書 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解させ、臨書させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考察させ、臨書させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫させる。	楷書の学習 雁塔聖教序		○		○	【知識・技能】 雁塔聖教序に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・抑揚あるしなやかな用筆 ・軽快な筆遣い ・方形で懐の広い構成 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己添削を工夫し、改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時間内での時間を有効に使って反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	14
	単元；蘭亭序の臨書 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解させ、臨書させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考察させ、臨書させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫させる。	行書の学習 蘭亭序		○		○	【知識・技能】 蘭亭序に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・線の抑揚やリズムを大切にした運筆 ・筆脈を活かした曲線的な字形 ・平面上における立体感と多彩な表現 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己添削を工夫し、改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時間内での時間を有効に使って反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	16
3学期	単元；高野切第三種の臨書 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解させ、臨書させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考察させ、臨書させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫させる。	仮名の学習 高野切第三種			○	○	【知識・技能】 高野切第三種に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・多彩な連綿 ・単純明快な字形と伸びやかな線質 ・平面上における立体感と多彩な表現 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己添削を工夫し、改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時間内での時間を有効に使って反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	22
											合計 78

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科 Hearting English Communication Ⅰ 科目 英語コミュニケーション

教　科：Hearting English Communication Ⅰ　　科　目：英語コミュニケーション　　単位数：　　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（１・３・４組：三浦　）（６・７・８　組：村瀬　（2・５　組：鈴木　（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ Herating English Communication ）

教科　Hearting English Communication Ⅰ の目標：

【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に英語で書かれたこ

科目　英語コミュニケーション　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 Lesson 1	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	5
	B 単元 Lesson 2	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 Lesson 3	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	8
	D 単元 Lesson 4	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	A 単元 Lesson 5	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	5
	B 単元 Lesson 6	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 Lesson 7	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えている。	○	○	○	8
	D 単元 Lesson 8	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題	○	○	○	7

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　外国語　科目 論理・表現Ⅰ

教　科： 外国語　　科　目： 論理・表現Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1,2,3,4組：村瀬）（5,6,7,8組：三浦）（1,5組：松下）（2,4,8組：河村）（3,5,7組：藤元）

使用教科書：（ EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ（数研出版）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしている。

【思考力、判断力、表現力等】知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，自らの学習を調整しようとしている。

科目　論理・表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で，自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[やり]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【Lesson1】Introduce yourself to your class ☆相手について今まで知らなかったことを聞き出すことができる。 ☆相手と会話を続けて，自分との共通点を探し出すことができる。	【指導事項】 ☆動詞　☆否定文と疑問文 ☆基本文型 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○	○		【知識・技能】 〈S+V+C〉と〈S+V+O〉の文を用いて，クラスメートとインタビューをし合い，その内容についてクラスで発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 相手のことを知るために，クラスメートに住んでいるところなどについて質問し	○	○	○	5
	【Lesson2】How do you spend your weekends? ☆自分が週末にしたことについてクラスメートとやりとりして，情報を伝え合う。 ☆自分の週末の予定に関するテキストメッセージを50語程度で書く。	【指導事項】 ☆時を表す表現 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○		○	【知識・技能】 未来を表すwill，be going to，現在進行形を用いて，自分の週末の予定について伝える文章を書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 週末の予定にクラスメートを誘うために，自分の週末の予定についての情報を	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	【Lesson3】Where did you go on vacation? ☆「これまで自分が訪れた場所の中で最もよかった場所」についてクラスメートとやりとりして，情報を伝え合う。 ☆「これまで自分が訪れた場所の中で最もよかった場所」について30秒	【指導事項】 ☆完了形 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○	○		【知識・技能】 現在完了形を用いて，自分が行ったことがある場所についてクラスメートと伝え合い，その内容について発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分が行ったことがある場所について，クラスメートに伝えたり，相手からの質	○	○	○	5
	【Lesson5】Would you like to come with me? ☆出席予定のイベントにクラスメートを誘うロールプレイを行う。 ☆自分が後悔していることについて伝える文章を50語程度で書く。	【指導事項】 ☆助動詞　☆受動態 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○		○	【知識・技能】 should have doneを用いて，自分が後悔したことに関して述べる文章を書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分の友人たちに伝えるために，自分が後悔したことについて，事実と自分の気持ちを整理し，述べる文章を書いてい	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
2学期	【Lesson7】 Do you do any volunteer activities? ☆自分の将来についてのレポートを50語程度で書く。	【指導事項】 ☆to不定詞 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○		○	【知識・技能】 to不定詞を用いて，自分の進路についての志望動機書を書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分の進路について報告するために，自分の将来について，自分の考えや気持ちを整理し，志望動機書を書いている。	○	○	○	5
	【Lesson9】Are you eco-friendly? ☆環境保護のためにできることについてクラスメートとやり取りして，情報を伝え合う。 ☆環境保護のために自分がしていることについて30秒程度で発表する。	【指導事項】 ☆動名詞 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○	○		【知識・技能】 doing（動名詞）を用いて，環境保護のためにできることについてクラスメートと伝え合い，その内容について発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 環境保護のためにしていることについて，クラスメートに伝えたり，相手から	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	【Lesson10】What sports do you like? ☆自分が最近したスポーツについてのブログを50語程度で書く。	【指導事項】 ☆分詞 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○		○	【知識・技能】 分詞を用いて，自分が最近したスポーツについてのブログを書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 複数の人々に知ってもらうために，自分が最近したスポーツについての情報や自分の気持ちを伝える文章を書いている。	○	○	○	6
	【Lesson13】I'm interested in history. ☆歴史上の偉人についてクラスメートとやりとりして，情報を伝え合う。 ☆自分が選んだ歴史上の偉人について30秒程度で発表する。	【指導事項】 ☆関係詞 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○	○		【知識・技能】 when，how（関係副詞）などを用いて，歴史上の偉人についてクラスメートとやりとりをし，その内容について発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 歴史上の偉人について，クラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりし	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
3学期	【Lesson14】Various countries around the world. ☆自分が行きたい国などについてクラスメートとやりとりして，情報を伝え合う。 ☆自分が行きたい国などについて30秒程度で発表する。	【指導事項】 ☆比較 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○	○		【知識・技能】 as ～ as，-er[more ～] than…などを用いて，自分が行きたい国などについてクラスメートとやりとりをし，その内容について発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分が行きたい国などについて，クラスメートに伝えたり，相手からの質問に答	○	○	○	5
	【Lesson15】What job are you interested in? ☆26歳の自分自身を想像して説明する文章を50語程度で書く。	【指導事項】 ☆仮定法 【教材】 ☆教科書・EARTHRISE総合英語（English grammar in 33） 【一人１台端末の活用】 ☆教材の配布、課題の提出等	○	○	○		○	【知識・技能】 If I had done ～，I would [could] have done…を用いて，26歳の自分自身を想像して説明する文章を書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 26歳の自分自身を想像して，将来の職業などについて自分の考えや気持ちを整理	○	○	○	5 合計 56

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年） 教科　　家庭　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　８組

教科担当者：（　１～８組：今井　）

使用教科書：（「高等学校　家庭基礎　持続可能な未来をつくる」　第一学習社　　）

教科　家庭　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、主体的に行動できるように導く。

【学びに向かう力、人間性等】家庭や地域及び社会における生活課題の解決における家庭科の役割を認識させる。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実践的・体験的な学習活動を通して、自立した生活を営むために必要な衣食住及び経済、家族等についての知識・技術を身に付けさせる。	主体的・対話的な深い学びの視点から、生活の様々な場面において、自ら考え、的確に判断を下し、行動できるようにする。	自分の生活に関心を持ち、疑問を持ったうえで積極的に授業に参加し、習ったことを生活に生かせるよう導く。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	４章　ともに生きる 【知識及び技能】 人の一生と各段階における課題、特に青年期についての知識を身に付ける。また、リスクヘッジの第一歩として社会保障制度を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己理解、現状把握を行い、それを文章化する事に挑戦させる。 【学びに向かう力、人間性等】 難しい専門用語も覚え方を工夫すれば考えつくことに気付かせる。	・指導事項 生涯発達する自分 青年期を生きる 社会保障制度と社会的連帯 人の多様性と社会参加 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 生涯発達と青年期の課題、社会保障制度について理解できている。 【思考・判断・表現】 現在の自分の自立度を明確に理解している。社会には様々な人がいることを理解し、その上で適切な対応をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で必要と感じたことを積極的にメモし、また発言することができる。	○	○	○	6
	５章　食生活をつくる 【知識及び技能】 現代の食生活の特徴や、栄養素について理解する。自分で栄養バランスを考えて献立を作成し、実際に調理出来るようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 栄養学上、自分にかけているものは何かを自分の生活から導き出せるようにする。また、効率的な調理について考え、実践できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の健康上の問題点を理解し、栄養について学ぶことで改善に努める姿勢を養う。	・指導事項 人の一生と食事 栄養と食品 食生活の安全のために 食生活をデザインする ・教材 教科書、資料集、プリント エプロン、三角巾、タオル 調理器具・用具、食材等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 現代の食生活、栄養素について理解できている。調理の基礎的技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】 一般的な特徴を自分の生活に照らし合わせて考えることができる。段取り良く調理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 習ったことを自分の生活に生かそうとしている。準備、調理、片付けに積極的に取り組む。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
２学期	１章　これからの生き方と家族 【知識及び技能】 家族・家庭についての専門用語を押さえ、結婚に関する法律を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の結婚観、家族観を確認し、他者との違いを認識する。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の発表から様々な考えを知り、人間の幅を広げる。	・指導事項 家族・家庭と社会とのかかわり ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 専門用語や家族の法律（民法）が正しく理解できている。 【思考・判断・表現】 自分の考えをしっかりと持ち、自分と違う考えを持っている人許容できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人の意見を最後までしっかりと聞き、自分の考えを再構築できる。	○	○	○	4
	６章　衣生活をつくる 【知識及び技能】 被服の機能、被服素材と手入れの方法、衣文化の伝承について理解させる。被服修繕のための基礎的技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 TPOに応じた被服選び、適切な手入れの方法等を考えて実践できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の衣生活を振り返り、改善できるところは積極的に改善できるようにする。	・指導事項 人の一生と被服 被服材料と管理 これからの衣生活 衣生活実習 ・教材 教科書、資料集、プリント 裁縫道具、布、糸等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 被服の機能、被服素材、手入れの方法が理解できている。最低限の縫製技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】 TPOに応じた服選び、適切な衣服の手入れができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で習った内容を用いて、被服選び、修繕、手入れができる。	○	○	○	20

	７章　住生活をつくる 【知識及び技能】 　快適な衣生活に必要な知識とそれを実践する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 　平面図を読み解き、適切な家選びが出来るようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 　自分の家庭生活での問題点を想定し、改善するために必要な知識・技術を活用できるようにする。	・指導事項 　人の一生と住まい 　住生活の計画と選択 ・教材 　教科書、資料集、プリント、DVD等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　快適な住生活を営むのに必要な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 　自分の状況に応じて適切な空間管理が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 　自分の家庭での問題点を持ち寄り、授業を通して改善策を導き出そうと努力している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	８章　経済生活をつくる 【知識及び技能】 　国民経済の仕組み、消費者問題と対処法、持続型社会のための方策を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 　国民経済での自分の立場を理解し、持続型社会のために適切な消費行動が出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 　積極的に自分の消費行動を振り返り、改善策を探そうとする姿勢を養う。	・指導事項 　私たちの暮らしと経済 　消費者問題を考える 　持続可能な社会をめざして ・教材 　教科書、資料集、プリント、DVD等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　国民経済の仕組み、消費者問題と対処法、持続型社会のための方策を理解している。 【思考・判断・表現】 　持続型社会のために適切な消費行動、自分ならば何が出来るかを考えることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 　自分の消費行動の問題点を改善するために、積極的に対策を考え、実践しようとしている。	○	○	○	10
	３章　充実した生涯へ 【知識及び技能】 　超高齢社会の状況と高齢者の生活を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 　自分もいつかは高齢者であることを理解し、高齢者への接し方や自分に出来ることを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 　自分の周囲の高齢者を思い浮かべ、自分に出来ることを考えながら授業に参加している。	・指導事項 　超高齢社会を生きる 　高齢期の生活 ・教材 　教科書、資料集、プリント、DVD等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　超高齢社会の状況と高齢者の生活を理解し、自分に出来る簡単な介助方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 　高齢者も様々であることを踏まえて、高齢者への接し方や自分に出来ることを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 　自分もいつかは高齢者であることを理解し、自分の周囲の高齢者への対応を積極的に考えている。	○	○	○	5
	２章　次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 　子どもの発達、かかわり方を実践を交えて身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 　様々な人の意見から、子どもは一律ではないこと、大人の対応で子どもが変わることに考えが及ぶようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 　自分の子ども時代や周囲の子どもをイメージして、自分のすべきことを考えられるようにする。	・指導事項 　子どもの発達 　子どもの生活 　子育て支援と福祉 ・教材 　教科書、資料集、プリント 　赤ちゃん人形等 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　子どもの発達や生活が理解でき、子どもへのかかわり方が身に付いている。 【思考・判断・表現】 　子どもは一律では無いことに思いが及んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　自分も以前は子どもだったこと、子どもは社会で育てると言われているため、自分には何が出来るか考えながら授業に参加出来る。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1 合計 78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　情報　科目 情報Ⅰ

教　科： 情報　　科　目： 情報Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：　（１組：大和）（２組：大和）（３組：大和）（４組：大和）（５組：大和）（６組：大和）（７組：大和）（８組：大和）

使用教科書：（ 日本文教出版 情報Ⅰ ）

教科 情報　　の目標：

【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し 、 技能を身に付けているとともに 、 情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりにつ いて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え 、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら 、 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報社会の問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付ける 情報技術が人や社会に果たす役割と影響，情報モラルなどについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会のを適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決し，望ましい情報社会の構築に寄与 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度	・情報の特性 ・メディアの特性、メディアリテラシー ・問題解決の考え方	【知識・技能】 情報やメディアの特性を踏まえ情報技術を活用して問題の発見・解決できる 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切に活用するとともに情報社会に主体的に参画する参画している	○	○	○	8
		・知的財産権、産業財産権 ・個人情報 ・情報社会と情報セキュリティ ・ソーシャルメディア適切な活用 ・情報技術の発展と社会の変化	【知識・技能】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している 【思考・判断・表現】 情報に関する法規や制度及びマナー意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについてそれらの背景を科学的にとらえ考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察しようとしている	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 単元 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴についての科学的な理解 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法について 【思考力、判断力、表現力等】 コンテンツを表現し，評価し改善する思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度 情報社会に主体的に参画する態度	・メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性 ・アナログとデジタル ・情報の表現のしくみ ・情報デザイン	【知識・技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している 【思考・判断・表現】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択できる 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し評価し改善しようとしている	○	○	○	8
		・コンピュータの基本的な構成 ・CPUによる演算 ・アルゴリズム ・プログラムを構成する要素 ・データ構造と配列	【知識・技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴，コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している 【思考・判断・表現】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察できる 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善できる 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2学期	C 単元 コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現，計算に関する限界などの知識 アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法についての知識と技能 の知識と技能 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度 〇結果を振り返って改善しようとする態度 〇生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとすることなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度	・モデル化とは ・モデル化とシミュレーション	【知識・技能】 社会や自然における事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している 【思考・判断・表現】 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 モデル化やシミュレーションを通して問題解決を積極的に行い、改善しようとしているか。	○	○	○	15
		・コンピュータネットワークの構成 ・データ伝送の仕組みとプロトコル ・暗号化と情報セキュリティ	【知識・技能】 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している 【思考・判断・表現】 ネットワークにおける情報セキュリティ上の問題について適切な解決方法を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワークや暗号化の仕組みを理解し適切な行動ができているか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3学期	D 単元 (1)情報通信ネットワークとデータの活用 【知識及び技能】 情報通信ネットワークや情報システムの仕組みについての知識 〇データを蓄積，管理，提供する方法，データを収集，整理，分析する方法，情報セキュリティを確保する方法についての技能 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを安全かつ効率的に活用する思考力・判断力・表現力 〇データを問題の発見・解決に活用する思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度 〇データを多面的に精査しようとする態度 〇情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度	・情報システム ・データベースの活用 ・データの収集と管理 ・データの分析	【知識・技能】 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解しているデータを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けた 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる 情報システムが提供するサービスの効果的な活用方法について考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集、整理、分析及び結果の表現方法を適切に選択し、実行し、評価し改善しようとしている	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科 総合的な探究の時間・人間と社会 科目

教　科： 総合的な探究の時間・人間と社会　　科　目： 総合的な探究の時間・人間と社会　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：本間）（2組：田山）（3組：松重）（4組：三浦）（5組：太田）（6組：川本）（7組：村瀬）（8組：吉田久）

使用教科書：（ 課題探究メソッド 2nd Edition（啓林館） ）

教科　総合的な探究の時間・人間と社会 の目標：

【知識及び技能】探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　総合的な探究の時間・人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会に関わる探究の過程において、日ごろの学習成果を活用しながら、地域や社会における課題に気づき解決へと導ける力を身に付けるとともに、身に付けた力を自己実現に結びつけられるようにする。	地域や社会と自分自身との関わりの中から問いを見いだし、情報を収集し分析する中で課題を設定し、仮説を立て、調査や実験などを通して検証する一連の手法を身に付けるとともに、探究の成果を論理的にまとめ・適切に表現する力	地域や社会に関わる探究活動に自ら考え行動するとともに、自他を尊び協働できる人間性と社会性を育て、社会の中で活躍し自己実現できる人材を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を学ぶ。	・ガイダンス、探究の意義と流れ、課題研究で気を付けること ・人間と社会(学ぶことの意義) ・哲学対話、文章講座、コンセンサスゲーム	【知識・技能】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を理解できている。 【思考・判断・表現】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の意義を理解し、課題研究を行う基本姿勢を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	5
	情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を学ぶ。	・情報の種類と信頼性、情報の集め方　・プレゼンテーション講座	【知識・技能】 情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を理解できている。 【思考・判断・表現】 情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の種類と信頼性、情報の集め方、プレゼンテーションの方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	7
		・大学訪問、上野の文化施設巡り（探究実習）					4
2学期	自己理解、興味関心を広げる。	・夏休み課題の発表会（一人１台端末を活用） ・自己理解、興味関心を広げる（SDGs）、探究のプロセスを学ぶ（ミニ探究・企業探究）、研究計画書の作成方法	【知識・技能】 自己の興味を広げ、探究のプロセス、研究計画書の作成方法を理解できている。 【思考・判断・表現】 自己の興味を広げ、探究のプロセス、研究計画書の作成方法を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の興味を広げ、探究のプロセス、研究計画書の作成方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を学ぶ。	・テーマ決定、情報収集 ・問いを立てよう ・仮説の設定 ・研究手法 ・ポスター作成の方法	【知識・技能】 問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を理解できている。 【思考・判断・表現】 問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 問いの立て方、仮説の設定、研究手法、ポスター作成の方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	7
3学期	探究の成果を論理的にまとめ、研究計画についてポスターを作成し、適切に表現する。	・ポスター作成 ・発表リハーサル ・人間と社会（地域社会をきずく） ・探究発表会（一人１台端末を活用）	【知識・技能】 探究の成果を論理的にまとめ、研究計画についてポスターを作成し、適切に表現する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 探究の成果を論理的にまとめ、研究計画についてポスターを作成し、適切に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究の成果を論理的にまとめ、研究計画についてポスターを作成し、適切に表現する方法を意欲的に追究しようとしている。	○	○	○	8
							4
							合計 39